

## 4章 考察

### 4-1 ヴィエトナム

#### 4-1-1 今後の全体の協力隊派遣の方向

ヴィエトナムへの協力隊派遣は、平成7年度末の派遣開始以来、ごく最近まで、地域的には首都ハノイのみ、職种的には日本語教師のみ、という限定的なものであった。これは、元来JICAの方針ではなく、そのような限定された要請しかヴィエトナム政府側から寄せられなかったことの当然の結果であった。ヴィエトナム政府においては、歴史的背景や現在の政治体制等のためか、おしなべて外国人に対する警戒心が強いと従来から言われている。したがって、協力隊受け入れに際してヴィエトナム政府が「ハノイ・日本語に限る」といった相当の慎重さを示した時、協力隊事務局としてはその慎重さを受け入れ、まずはハノイの日本語教師という要請された分野で実績を重ね、ヴィエトナム政府の信頼を着実に獲得することが必要であると考えたのである。

このような基本方針のもとに日本語隊員のハノイへの派遣を続けた結果、昨年度からHCMへのスポーツ分野の隊員派遣の要請が提出されるようになった。さらに、今後はハノイ、HCMという2大都市以外の地域への派遣要請が寄せられ、職种的には、デザイン、観光、システムエンジニア、栄養士、看護婦等、さまざまな分野での協力が期待されるに至っている。今回の調査においては、今後予想されるこのような協力隊活動の多角化を念頭に、その第一歩をうまく進めるにはどのような留意が必要か、保健衛生分野を中心に実地に検討することを計画していた。

今回の調査における数々の訪問先のうち、中部・南部の窓口機関、将来の隊員配属先機関等、これまで隊員を実際に受け入れた経験のない（またはごく少ない）組織において、協力隊への期待及び受け入れ体制をできる限りきちんと整えようという意志が強いことが印象的であった。特に地方の現業組織の場合、これまで外国の援助とは縁が薄かったせいか、今回の訪問先に関する限り、いわゆる「援助慣れ」している様子はなかった。これらの組織は、今まで、自力でできる範囲で施設を整え技術者を養成し業務を遂行してきており、その意味で組織や制度がそれなりに存在し機能しているし、組織の職員側に自負心もあるようである。そのためか、隊員が派遣された場合に、人手不足解消のために隊員に業務を任せようとか、新しい機材を申請しよう、といった援助頼み的な期待が、全くと言っていいほど感じられなかった。一方で、ゲアン省の郡病院、フエ市立病院、科学図書館等では、「隊員はヴィエトナム側にとって新しいアイデアをもたらしてくれると思うので、隊員と一緒に活動することを通じて隊員から学びたい」というような、隊員との協働そのものに対する熱い期待が聞かれた。以上の如きヴィエトナム側の反応の背景には、JICA事務所がこれまで要請開拓を進めるにあたり、隊員の協力に対する純粋な期待が強く協力効果の上がりそうな組織に的を絞って適確な事業紹介・協議を行ってきたというこ

とがもちろんあるだろうが、その一方で、ベトナム側、特に地方の中小規模の組織において、自助努力の姿勢がおしなべて強く根付いているように感じられたことをここに特筆する。

上述の状況に鑑みれば、今後隊員を派遣する場合には、ベトナムの地方組織が現在持っている純粋な協力隊への期待を裏切らず、また、これら組織がこれまでに自力でつちかっていた自前の組織・制度や自負心を仮にも損なうことのないように、隊員の選考や隊員支援経費の使い方に細心の注意を払うことが重要だと考えられる。すなわち、技術的・対人的に受入先の期待に応えつつ、受入先に援助への依存心をできる限り生じさせない協力を目指し、日本側として期待に応え得る人材を確保する努力と協力内容・程度についての工夫が望まれる。

また、この関連で、後ほど4-3に詳述するが、これまで数年間の実績を重ねたハノイの日本語教育分野における協力について、今後のベトナムでの協力隊事業の全体像を念頭に置きながら暫定的総括を行い、これからの派遣方針につき改めて整理する必要もあると考えられる。

#### 4-1-2 保健衛生分野の隊員派遣

ベトナムの保健・衛生機関、および施設等の訪問や見学を通して、ベトナムの関係者が一様に日本の青年海外協力隊を好意的に受けとめ、協力を要請していた点について感銘を受けた。一方で、このたびのベトナムへの保健衛生分野の隊員派遣の要請開拓が実現したのは、ベトナムJICA事務所の所長はじめ、担当者の綿密な事前調査の結果と考える。また、ゲアン省における隊員派遣要請の背景には、リプロダクティブヘルスプロジェクトの活動に対する省側の評価があると考えられる。そこで、今後とも両国の良好な関係を維持し、隊員がベトナムのニーズに添った活動を行うためにも、上記のベトナムの実状を念頭に置き、見解を述べたい。

新しく派遣される保健衛生分野の隊員にとっては、施設やその構造・機能および職員構成など全体が視野に入る50床程度の施設が、活動しやすく、適当ではないだろうか考える。

看護職種の協力隊の応募者の実務年数は、10年位の経験者が多い。国内の実務経験が10年前後の看護職は、専門職として技術面の実力は十分持っていると考えられる。また、勤務先の状況にもよるが、管理職的な役割を持っている人も少なくないが、おおかたの応募者は、勤務先スタッフの一員として後輩や学生の指導に当たっている状況である。この応募者状況からすれば、今回ベトナムから派遣要請のあった看護婦や助産婦は技術的には選抜できると考える。特に助産婦は病棟管理に携わり家族計画と受胎調節の巡回指導をすることも期待されていることから、助産婦としての実力も重視しながら、看護婦としての実務体験を持った幅広い人材を選抜したい。

また、看護管理的な業務や看護婦・助産婦の再教育の要請に関与することから、国内において実務経験が長く、多少であっても、看護管理を経験した人材を選抜したいと考える。なお、栄養士については、国内においてどの分野の経歴を持っていたかにもよるが、隊員の任期は2年と限られているので、要請内容の地域住民の体力向上の一方法として、例えば妊婦の栄養や、乳幼児の栄養、また、学童の栄養などに焦点を絞って取り組むことも一案と考える。

#### 4-1-3 その他の分野の隊員派遣

1999年11月1日現在で、ヴェトナム派遣中隊員及び訓練中隊員候補生を合わせると、日本語教師及びスポーツ分野の職種が全体の90%を占めている。また、派遣先の95%がハノイもしくはHCMという2大都市である。これでも、数か月前までの「ハノイ・日本語教師のみ」という派遣状況からすれば、職種・派遣地域の多様化という目標においてかなりの進展があったと見る事ができ、ヴェトナムにおいては各方面で協力隊へのニーズが高いと考えられるため、更に多様な職種で様々な地方へ隊員派遣を展開すべきである。保健衛生分野の他に、次の分野で隊員の今後の要請開拓が考えられる。

- 農林水産分野：  
ヴェトナムは人口全体の約80%が農村部において農業に従事していると言われている。ドイモイ政策が導入されて工業化を目指しているが、農業は依然重要な産業として認識されている。ヴェトナムの農産物及び水産物はほとんどが加工されないまま輸出されているのが現状である。協力隊として協力できる可能性がある職種は農産物加工、水産物加工、食品加工等が考えられる。隊員の協力により農産物・水産物に付加価値を付けることで農家の収入の増加が期待できる。
- 保守操作分野：  
特に工作機械、電気機器、自動車整備などの職種はニーズが高く、職業訓練を通じて人材を育成することが期待できる。ただし、特に同分野の職業訓練においては、長期的な視野で考えた場合、数年後のヴェトナムの自立を促すためにカウンターパートの育成を中心とした人材づくりに取り組むことが望ましいと考えられるため、カウンターパートの育成の環境が整った受入先を厳選して要請開拓を行う必要がある。
- 社会開発分野：  
特に青少年活動、村落開発、及び環境教育など社会問題に取り組むことが重要と思われる。
- スポーツ分野：  
国家選手の育成も国威発揚の点で重要と思われるが、より多くの一般国

民がスポーツを楽しむ健康増進を図れるように体育、水泳など普及型のスポーツ隊員の派遣も重要と思われる。

- 日本語教師：  
日本語教師隊員については、ヴィエトナムへの協力隊事業の紹介及び先導役として、1999年11月1日現在累計で22名が派遣され、日本語教師隊員の活動がヴィエトナム側に高く評価され、他の職種への展開するための先導的な役割を果たしてきた。しかし、一方では一部の配属先では、隊員は教師の欠員を埋めるためでしかなく、初代隊員から現在活動中の隊員まで悩みを抱えている。今後、このような配属先への隊員派遣を継続する場合は、問題を解決すべく事務所を中心に働きかける必要がある。それでも改善が見られない場合は、継続的に派遣する計画を見直す必要があると思われる。

また、現在活動中の日本語教師隊員への支援として、日本語教師を目指している日本の学生もしくは現職の日本語教師をバックアッププログラムを利用して派遣することも考えられる。これが実現できれば、次の効果が期待できる。

- (1) ヴィエトナムの生徒は多くの日本人と交流して生の日本語及び日本文化に触れることが日本語教育をより効果的に学習できる。
- (2) 現職の日本語教師が参加すれば、授業の運営・指導方法等で隊員が勉強できることが多々ある。
- (3) 日本の学生が海外でのボランティア活動に興味を持ち、日本語教師等隊員への応募のきっかけとなる可能性がある。

- HCM市科学図書館  
同図書館には1999年8月に2名の隊員（司書及びシステムエンジニア）が派遣される予定である。同図書館はヴィエトナム南部のネットワークの拠点としての役割を持っていることから、右隊員の活動の成果をふまえて将来的にグループ派遣などまとまった形での隊員派遣により南部ネットワーク化に協力することができれば、より大きな効果が期待できるものと思われる。これを念頭に置きつつ今後の2名の隊員活動を見守りたい。

#### 4-2 ラオスへの保健衛生分野の隊員派遣

このたびラオスの保健衛生隊員の巡回をし、同国の医療機関における隊員の受入状況と活動現況を具体的に把握できた。また、JICAの事務所でも保健衛生分野に力を注いでおり、特に看護婦隊員の主導により企画された看護セミナーを資金面等で支援していることはラオスの保健衛生分野の発展に寄与するものとして、印象に残った。

ラオスは経済的に豊かな国ではないが、人々は自然を大切にし、深い信仰心を持ち、温厚で温かい国民であるという印象を受けた。そのなかで、国民の教育や健康等に対する関心は高く、ゆっくりであるが、静かに、着実に改善の方向に進んでいるという印象も受けた。

そこで、今回保健衛生分野の巡回を通して知り得たことを記述する。

- 学校教育のレベルは日本のレベルと同等ではなく、したがって、保健衛生分野の教育内容も日本とは異なっている。
- 臨床検査のための機器・機材・試薬がないため、臨床検査技師隊員は着任早々、協力活動が困難である場面に遭遇した。
- 一部の隊員の配属機関は、隊員支援経費による機材等の供与を期待しているように見受けられた。
- 助産婦隊員は要請内容を自分の見解で解釈し、後任の要請の必要性の有無の結論を出していた。(例えば、日本の基準でラオスの医療・看護のレベルを見て、その落差や相違の原因や因果関係の分析を試みていないように思う。さらに、要請内容の全てを一代で達成しようとし、達成が不可能と判断すると、後任も多分自分と同様、要請内容は達成できないのではないかと判断し、その結果、後任の要請を断念している。)

ラオスでは、現在60名前後の隊員が在任し、そのうち保健衛生分野の隊員は14名である。ラオスの保健衛生分野の隊員の活動は軌道に乗っていていると考える。臨床検査技師隊員は比較的大きな病院や学校に、そして、看護婦と助産婦隊員は、県立と郡立病院において活動していた。いずれの隊員も配属先との人間関係も良く、協力活動に前向きに取り組んでいた。隊員として活動するためには、任国での信頼関係が必要不可欠な条件であると考え。そこで、隊員は今後もより良い関係を保つ努力をし、JICA事務所の職員は若い隊員が存分に活躍できるよう、サポートしていただけるものと確信している。

#### 4-3 団長所感<看護婦・助産婦の隊員派遣にあたって>

今回、ベトナムとラオスを訪問し、限られた時間と地域ではあるが、各国の保健衛生の現場の実状を知ることができた。またベトナムの保健衛生分野の要請開拓を通じ、新規隊員の要請に至るプロセスを学び、技術専門員として貴重な体験をし、その重責を再認識した。

そこで、今後のベトナム・ラオスの隊員の派遣について見解を述べたい。

- 隊員の選考  
両国とも、隊員の派遣要請は看護の質の向上が目的であると受けとめた。その要請に応えるために、応募者の経歴を尊重し、要請にあった経歴の隊員を選考することが重要である。
- 隊員の事前研修語学訓練は勿論のことであるが、任国の文化・教育・政治・宗教等の研修、もしくは事例検討等の学習をさらに充実させ、広い視野で客観的に問題解決や自己評価ができるよう、提案したい。

また、わが国の助産婦教育では、地域の巡回指導の学習はカリキュラムに位置付けられていない。そこで、派遣前の技術補完研修により地域巡回指導について研修させることが望ましいと考える。

- 隊員の活動と評価隊員の任期は2年である。1人の隊員ができる活動範囲や内容は限られている。一代の隊員の活動は要請内容のごく一部分に過ぎないものとする。隊員は過大な目標と気負いを持って活動に取り組みがちであり、その結果、活動の成果を過小評価する傾向があるように思われるので、JICA事務所の担当者は隊員活動の評価に参加し、適切な評価になるようアドバイスをしていただきたいと考える。また、評価に同席することにより、後任の隊員が必要か否かの判断、及び後任要請内容の作成等に関しても助言できるものとする。

## 添付資料

- 1 ヴィエトナムの協力隊国別概要、隊員配置図、隊員派遣現況
- 2 ラオスの協力隊国別概要、隊員配置図、隊員派遣現況
- 3 保健省組織図
- 4 保健行政のネットワーク
- 5 ゲアン称保健・省医療関連資料
- 6 ゲアン省リプロダクティブ・ヘルス・プロジェクト関連資料
- 7 フエ市保健サービス組織図
- 8 ホーチミン市保健サービス組織図

平成11年2月1日現在

協力隊国別概要ヴェトナム社会主義共和国

派遣中隊員数：12名（内女性10名）  
 派遣隊員累計：23名（内女性17名、シニア4名）  
 派遣取極：平成6年8月25日（1994年）  
 派遣開始：平成7年2月21日（1995年）短期緊急隊員派遣  
 任国受入窓口：外務省  
 海外手当：生活費 \$ 395 住宅手当限度額 \$ 360  
 隊員訓練言語：ヴェトナム語  
 調整員氏名：永野年明

## &lt;参考&gt;

面積：332,000km<sup>2</sup>  
 人口：74,550千人（94年）  
 首都：ハノイ

主要言語：ヴェトナム語  
 GNP/一人：\$ 240  
 出典：世界の国一覧表（1997年版）

## 1. 隊員派遣の現状

## (1) 概論

ヴェトナムは協力隊派遣国としては、非常にレベルの高い国である。日本語教育についてもその歴史は長く、且つ最近の急激な需要増に伴い高等教育機関以外のプライベート機関（日越文化交流協会等の民間団体）も増えてきている。隊員配属先は全て国立大学であり、各大学の日本語科教師の育成や生徒への直接の授業を受け持っている。隊員派遣から1年余を経たが、活動に対する越国側からの評価は良い（各配属先から外務省へ報告されている可能性有り）。しかし、過去において他国政府系ボランティア団体の特別な調査活動や反政府運動と思われる活動が近隣の東側諸国（ラオス）で行われた為、又、越国における協力隊に対する認識度が低い為（協力隊活動は、平成7年2月よりスタート）、西側からの政府系ボランティア団体に対して、必要以上の注意が払われている状況である。したがって、協力隊については派遣職種（現在、日本語教師のみ）や、派遣先（ハノイ市のみ）についての限定された上で派遣された。この状況は現在も続いており、今後の越国内における協力隊派遣事業の展開について、越国側からのさらなる理解が必要である。

## (2) チーム派遣

現在のところ予定なし。

## (3) 無償資金協力及び他の技術協力との連携

国際交流基金の日本語専門家との連携が予想される。



## 2. 生活事情

### (1) 医療事情

一般的に病院などでは設備や医薬品が不足しており、また衛生観念は低い。軽い病気であれば大使館の医務官に見てもらえることができる。又、外国人医師（アメリカ人）が開業している医院もあり、料金は高いが医療設備は整っている。（独自の緊急時国外移送方法有り）

### (2) 治安状況

現在隊員が派遣されているハノイは、盗難等はあるが、鍵をかけるなどの注意を怠らなければ、被害にあうことは少なく、治安は比較的良好だといえる。ただし夜は一人で外出しない等の注意は必要である。ホーチミン市については、組織的な一般犯罪が多発しており、同地を訪れる場合は注意が必要。

### (3) 交通事情

ハノイ市内では多量の単車、自転車等が交通ルールのほとんどない状態で走っているため、交通事故の起こる危険度大。（過去に隊員が交通事故に遭遇した実例有り）隊員には単車は貸与せず、自転車貸与で対応している。交通の便という点ではハノイ市内ではタクシー、シクロもあり、問題はない。市外への交通はバス、鉄道、飛行機があるが、バス鉄道はあまり便がいいとは言えない。

### (4) 通信事情

電話、FAXはハノイにはかなり普及しており、国内外への通信は問題なし。ただしコレクトコールはできない。

郵便は航空便で約1週間以内、船便で約3週間で届く。

## 3. 問題点等懸案事項

近年の日系企業の進出に伴い、日本語教育に対する需要は急増しているが、ベトナムにおける日本語教育のレベルは現段階ではさほど高くはない。しかしベトナム人は向学心旺盛で誇り高い国民であり、外国からの援助団体には技術的にも人格的にも優れた人材でないと受け入れない恐れがある。

またベトナムは外国との間に不幸な紛争の歴史があるためか、外国人に対する警戒心が強いように見受けられる。従って、協力隊もむやみに派遣分野、派遣数を増やすのではなく、まずは要請のある日本語の分野で相手の信頼を得られる活動を行うことが重要である。

なお、最近日本語以外の隊員要請の打診や他の都市への展開の検討も始まっており、上記の状況を踏まえつつも、今後の地方展開に向けて関係機関との積極的な交渉を開始する時期に入りつつある。

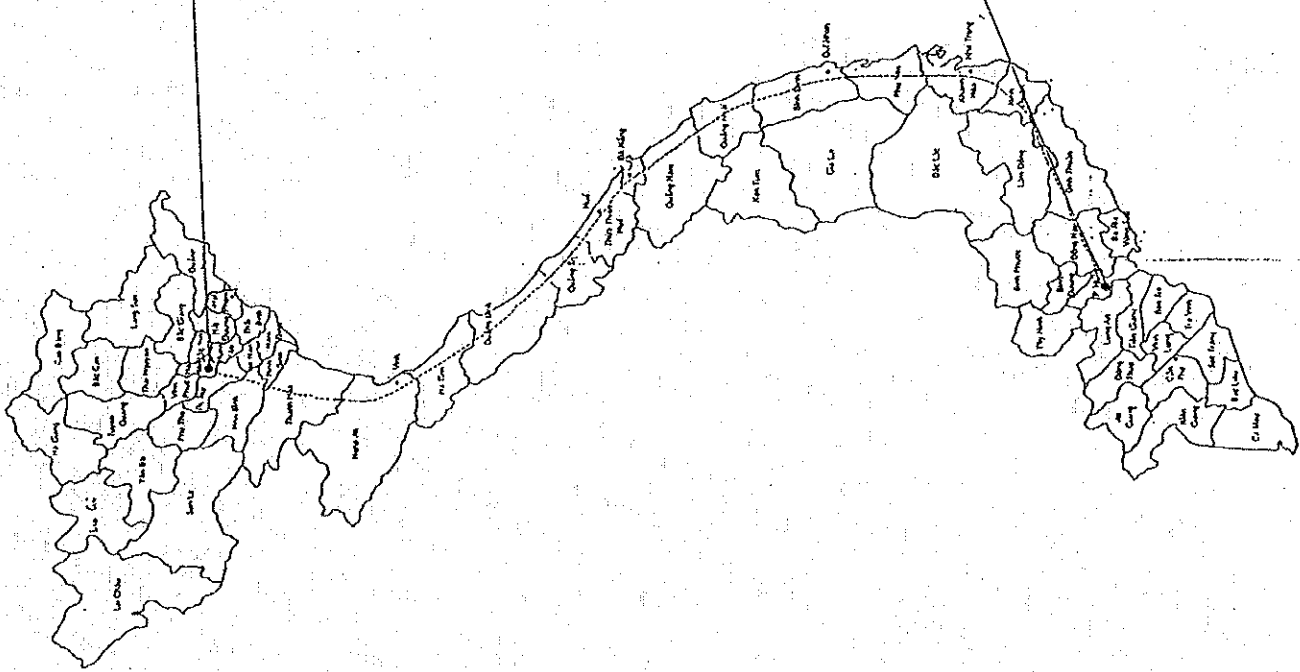
ヴェトナム国、隊員配置図

平成 17 年 8 月 7 日

ヴェトナム軍施設、派遣中隊員 10 名

(男子 3 名、女子 7 名)

要員: 27 名 (男子 8 名、女子 19 名)



| HANOI (ハノイ) 8 名 |        |       |              |
|-----------------|--------|-------|--------------|
| 隊次              | 隊員氏名   | 職種    | 任期           |
| H9 / 1          | 井出 聡子  | 日本語教師 | ~ 2000.01.07 |
| H9 / 1          | 上原 翔子  | 日本語教師 | ~ 2000.01.07 |
| H10 / 1         | 石井 友子  | 日本語教師 | ~ 2000.07.07 |
| H10 / 1         | 小林 学   | 日本語教師 | ~ 2000.07.07 |
| H10 / 2         | 猪又 礼子  | 日本語教師 | ~ 2000.12.08 |
| H10 / 2         | 吉田 菜世子 | 日本語教師 | ~ 2000.12.08 |
| H11 / 1         | 中川 麻弘  | 日本語教師 | ~ 2001.07.13 |
| H11 / 1         | 栗原 明英  | 日本語教師 | ~ 2001.07.13 |

| HCMC (ホーチミン) 2 名 |       |    |              |
|------------------|-------|----|--------------|
| 隊次               | 隊員氏名  | 職種 | 任期           |
| H11 / 1          | 本部 洋介 | 水泳 | ~ 2001.07.13 |
| H11 / 1          | 鳥坪 則子 | 水泳 | ~ 2001.07.13 |

H 14 年 8 月 1 日

隊 員 派 遣 現 況

|   | 氏名          | 派遣年度 隊次   | 職種    | 活動終了年 | 活動終了日 |      |
|---|-------------|---|-------|-------|-------|------|
|   | 関連省庁        | 配属先名  |       |       |       | 身分措置 |
|   | 配属先住所       |   |       |       |       |      |
| 1 | 上原 靖子       | 1997 1次   | 日本語教師 | 2000  | 01.07 |      |
|   | 教育訓練省       | ハノイ外国語大学<br>Km9 Nguyen Trai Str. Dong Da, Hanoi               |       |       |       |      |
| 2 | 井出 聡子       | 1997 1次   | 日本語教師 | 2000  | 01.07 |      |
|   | 総理府         | 国家大学外国語大学<br>Duong Thang Long, Cau Giay, Tu Liem, Hanoi       |       |       |       |      |
| 3 | 石井 友子       | 1998 1次   | 日本語教師 | 2000  | 07.14 |      |
|   | 教育訓練省       | ハノイ外国語大学<br>Km9 Nguyen Trai Str. Dong Da, Hanoi               |       |       |       |      |
| 4 | 小林 学        | 1998 1次   | 日本語教師 | 2000  | 07.14 |      |
|   | 教育訓練省       | タンロン大学<br>Khuong Trung, Thanh Xuan, Hanoi                     |       |       |       |      |
| 5 | 猪又 礼子       | 1998 2次   | 日本語教師 | 2000  | 12.08 |      |
|   | 教育訓練省       | ハノイ貿易大学<br>Lang Thuong, Dong Da, Hanoi,                       |       |       |       |      |
| 6 | 吉田菜穂子       | 1998 2次   | 日本語教師 | 2000  | 12.08 |      |
|   | 国家人文社会科学研究所 | 日本研究センター(CJS)<br>HI T/T KHXH, Cong Vi-Ba Dinh, Hanoi          |       |       |       |      |
| 7 | 中川 康弘       | 1999 1次   | 日本語教師 | 2001  | 07.13 |      |
|   | 教育訓練省       | フオンドン国立大学<br>50 Vu Trong phuong Str., Thanh Xuan Dist., Hanoi |       |       |       |      |
| 8 | 栗原 明美       | 1999 1次   | 日本語教師 | 2001  | 07.13 |      |
|   | 教育訓練省       | 貿易大学<br>Lang Thuong, Dong Da, Hanoi                           |       |       |       |      |

H 11年 8月 4日

隊 員 派 遣 現 況

氏名 派遣年度 隊次 職種 活動終了年 活動終了日  
 関連省庁 配属先名 身分措置  
 配属先住所

|    |  |      |    |    |      |       |  |
|----|--|------|----|----|------|-------|--|
| 9  | 本部 洋介  | 1999 | 1次 | 水泳 | 2001 | 07.13 |  |
|    | ホーチミン市人民委員会 Yet Kieu クラブ (HCMC水泳協会)<br>01 Nguyen Thi Minh Khai, Q1, T.P. HCM |      |    |    |      |       |  |
| 10 | 鳥坪 則子  | 1999 | 1次 | 水泳 | 2001 | 07.13 |  |
|    | ホーチミン市人民委員会 Yet Kieu クラブ (HCMC水泳協会)<br>01 Nguyen Thi Minh Khai, Q1, T.P. HCM |      |    |    |      |       |  |

ガイエトナム派遣隊員名簿

1999年12月現在

| 氏名     | 隊員区分     | 隊次  | 活動期間(自)  | 活動期間(至)  | 業種名    | 出身県名 | 配属先名                 | 任地名    |
|--------|----------|-----|----------|----------|--------|------|----------------------|--------|
| 鈴木 衣今子 | 一般隊員     | 071 | 19950710 | 19970709 | 日本語教師  | 福 島  | 教育訓練省ハノイ外国語大学        | ハノイ    |
| 門松 五保子 | 一般隊員     | 071 | 19950710 | 19980109 | 日本語教師  | 大 阪  | ハノイ国家大学              | ハノイ    |
| 松島 節子  | 一般隊員     | 071 | 19950710 | 19970709 | 日本語教師  | 徳 島  | 教育訓練省ハノイ貿易大学         | ハノイ    |
| 栗林 徹   | 一般隊員     | 081 | 19960710 | 19980709 | 日本語教師  | 千 葉  | 教育訓練省ハノイ外国語大学        | ハノイ    |
| 鈴木 和美  | 一般隊員     | 081 | 19960710 | 19990109 | 日本語教師  | 静 岡  | 教育訓練省ハノイ貿易大学         | ハノイ    |
| 岩崎 弥生  | 一般隊員     | 082 | 19961211 | 19981210 | 日本語教師  | 静 岡  | 国家人文社会科学研究所日本研究センター  | ハノイ    |
| 松尾 順子  | 一般隊員     | 082 | 19961211 | 19981210 | 日本語教師  | 福 岡  | 国家大学外国語大学            | ハノイ    |
| 赤澤 幸   | 一般隊員     | 091 | 19970708 | 19990707 | 日本語教師  | 埼 玉  | 国家大学外国語大学            | ハノイ    |
| 上原 靖子  | 一般隊員     | 091 | 19970708 | 20000107 | 日本語教師  | 神奈川  | 教育訓練省ハノイ外国語大学        | ハノイ    |
| 井出 聡子  | 一般隊員     | 091 | 19970708 | 20000130 | 日本語教師  | 静 岡  | 国家大学外国語大学            | ハノイ    |
| 駒田 その子 | 一般隊員     | 091 | 19970708 | 19990707 | 日本語教師  | 静 岡  | 国家大学社会科学大学           | ハノイ    |
| 松尾 祐美  | 一般隊員     | 091 | 19970708 | 19990707 | 日本語教師  | 愛 知  | 国家大学外国語大学            | ハノイ    |
| 田場 早苗  | 一般隊員     | 091 | 19970708 | 19990707 | 日本語教師  | 沖 縄  | 教育訓練省ハノイ貿易大学         | ハノイ    |
| 小林 学   | 一般隊員     | 101 | 19980715 | 20000714 | 日本語教師  | 神奈川  | 教育訓練省タロン大学           | ハノイ市   |
| 石井 友子  | 一般隊員     | 101 | 19980715 | 20000714 | 日本語教師  | 神奈川  | 教育訓練省ハノイ外国語大学        | ハノイ市   |
| 猪又 礼子  | 一般隊員     | 102 | 19981209 | 20001208 | 日本語教師  | 北海道  | 教育訓練省ハノイ貿易大学         | ハノイ市   |
| 吉田 菜穂子 | 一般隊員     | 102 | 19981209 | 20001208 | 日本語教師  | 愛 知  | 国家人文社会科学研究所日本研究センター  | ハノイ市   |
| 中川 康弘  | 一般隊員     | 111 | 19990714 | 20010713 | 日本語教師  | 東 京  | 教育訓練省・フオンドン国立大学      | ハノイ市   |
| 栗原 明美  | 一般隊員     | 111 | 19990714 | 20010713 | 日本語教師  | 福 岡  | 教育訓練省ハノイ貿易大学         | ハノイ市   |
| 島坪 則子  | 一般隊員     | 111 | 19990714 | 20010713 | 水泳     | 兵 庫  | ホーチミン市水泳協会Yekkieuクラブ | ホーチミン市 |
| 本部 洋介  | 一般隊員     | 111 | 19990714 | 20010713 | 水泳     | 宮 崎  | ホーチミン市水泳協会Yekkieuクラブ | ホーチミン市 |
| 長門 ゆき  | 一般隊員     | 112 | 19991208 | 20011207 | 栄養士    | 滋 賀  | グアム省予防医療センター         | ヴィン市   |
| 田島 久   | 一般隊員     | 112 | 19991208 | 20011207 | 工業デザイン | 東 京  | ホーチミン市文化芸術大学         | ホーチミン市 |
| 田中 智穂  | 一般隊員     | 112 | 19991208 | 20011207 | 日本語教師  | 神奈川  | 教育訓練省ハノイ外国語大学        | ハノイ    |
| 熊倉 裕子  | 一般隊員     | 112 | 19991208 | 20011207 | 日本語教師  | 新 潟  | 国家大学外国語大学            | ハノイ    |
| 中嶋 千恵  | 一般隊員     | 112 | 19991208 | 20011207 | 日本語教師  | 愛 知  | 国家大学社会科学大学           | ハノイ    |
| 安藤 康友  | 一般隊員     | 112 | 19991208 | 20011207 | テニス    | 岐 阜  | ホーチミン市テニス連盟          | ホーチミン市 |
| 宇津野 伸夫 | 一般隊員     | 112 | 19991208 | 20011207 | テニス    | 愛 知  | ホーチミン市テニス連盟          | ホーチミン市 |
| 山田 耕司  | 一般隊員     | 112 | 19991208 | 20011207 | テニス    | 愛 知  | ホーチミン市テニス連盟          | ホーチミン市 |
| 小林 雄一郎 | 一般隊員     | 112 | 19991208 | 20011207 | テニス    | 愛 知  | ホーチミン市テニス連盟          | ホーチミン市 |
| 富岡 宏幸  | 一般隊員     | 112 | 19991208 | 20011207 | テニス    | 愛 知  | ホーチミン市テニス連盟          | ホーチミン市 |
| 瀬野 照美  | 一般隊員     | 112 | 19991208 | 20011207 | テニス    | 愛 知  | ホーチミン市テニス連盟          | ホーチミン市 |
| 内田 十ナ  | 短期緊急派遣隊員 | 080 | 19961209 | 19981208 | 柔道     | 東 京  | ホーチミン市バレーボール協会       | ハノイ    |
| 新見 康之  | 短期緊急派遣隊員 | 069 | 19950221 | 19951130 | 日本語教師  | 東 京  | 国家人文社会科学研究所日本研究センター  | ハノイ    |
| 奥村 智紀  | 短期緊急派遣隊員 | 069 | 19950221 | 19951130 | 日本語教師  | 京 都  | 教育訓練省ハノイ外国語大学        | ハノイ    |
|        | 短期緊急派遣隊員 | 069 | 19950221 | 19951130 | 日本語教師  | 長 崎  | ハノイ国民大学              | ハノイ    |

平成 11 年 6 月 24 日現在

協力隊国別概要ラオス人民民主共和国

派遣中隊員数： 58名 (内女性 24名、シニア2名)

派遣隊員累計： 398名 (内女性 81名、シニア 7名)

派遣取極： 昭和 40年 11月 23日 (1965年)

派遣開始： 昭和 40年 12月 1日 (1965年)

任国受入窓口： 首相府 投資協力委員会

海外手当： 生活費 \$ 335

住宅手当限度額： \$ 250

隊員訓練言語： ラオス語

調整員氏名： 高木 直喜、吉村 卓、倉田 美喜雄

## &lt;参 考&gt;

面積： 237,000km<sup>2</sup>  
 人口： 9,470千人  
 首都： ビエンチャン

主要言語： ラオス語

GNP/一人： \$ 350 (1994)

出典： 世界の国一覧表 (1997年版)

## 1. 隊員派遣の現状

## (1) 概 論

看護婦(士)等保健衛生部門が一番多く、派遣隊員全体の約38%を占めている。続いて獣医師等の農林水産部門の34%となっている。1975年の革命政権誕生以来当国技術者が国外に亡命を図った結果、中堅技術者層に空白を生じており、その埋め合わせに外国のボランティアが要請されている。従って職種は農林水産、保健衛生、土木・建築分野が多い。実際の派遣については土木・建築分野の応募者が少なく、確保が困難である。

## (2) チーム派遣

今のところないが、農林水産、保健衛生分野でのグループ派遣あり。

## (3) 無償資金協力及び他の技術協力との連携

人口家族計画フロントライン計画では、供与機材を隊員が活用中、また、サバナケ

ット環総合農村開発計画の普及部分に於いて、協力隊員がサポート業務を行っている。

## 2. 生活事情

### (1) 医療事情

寄生虫が関与していると思われる病気の報告がしばしばある。マラリア、デング熱、下痢症にかかる確率も低くない。

病院施設（特に地方の病院）は、あまり整っていないが、ヴィエンチャンのマホソット病院（インターナショナルクリニック）では外国人用の緊急医療体制を整えている他、メコン川対岸のノンカイ、ウドンタニ市内の病院への緊急移送体制もある。

### (2) 治安状況

ラオス国内での外国人に対する犯罪率は現在のところ置引き程度の軽微なものに限られているがラオスタイ友好橋の開通以来貧富の格差が拡大し、犯罪は増加する傾向にある。特に職に就けない青少年層による引ったくり、置き引き等が増加している。

### (3) 交通事情

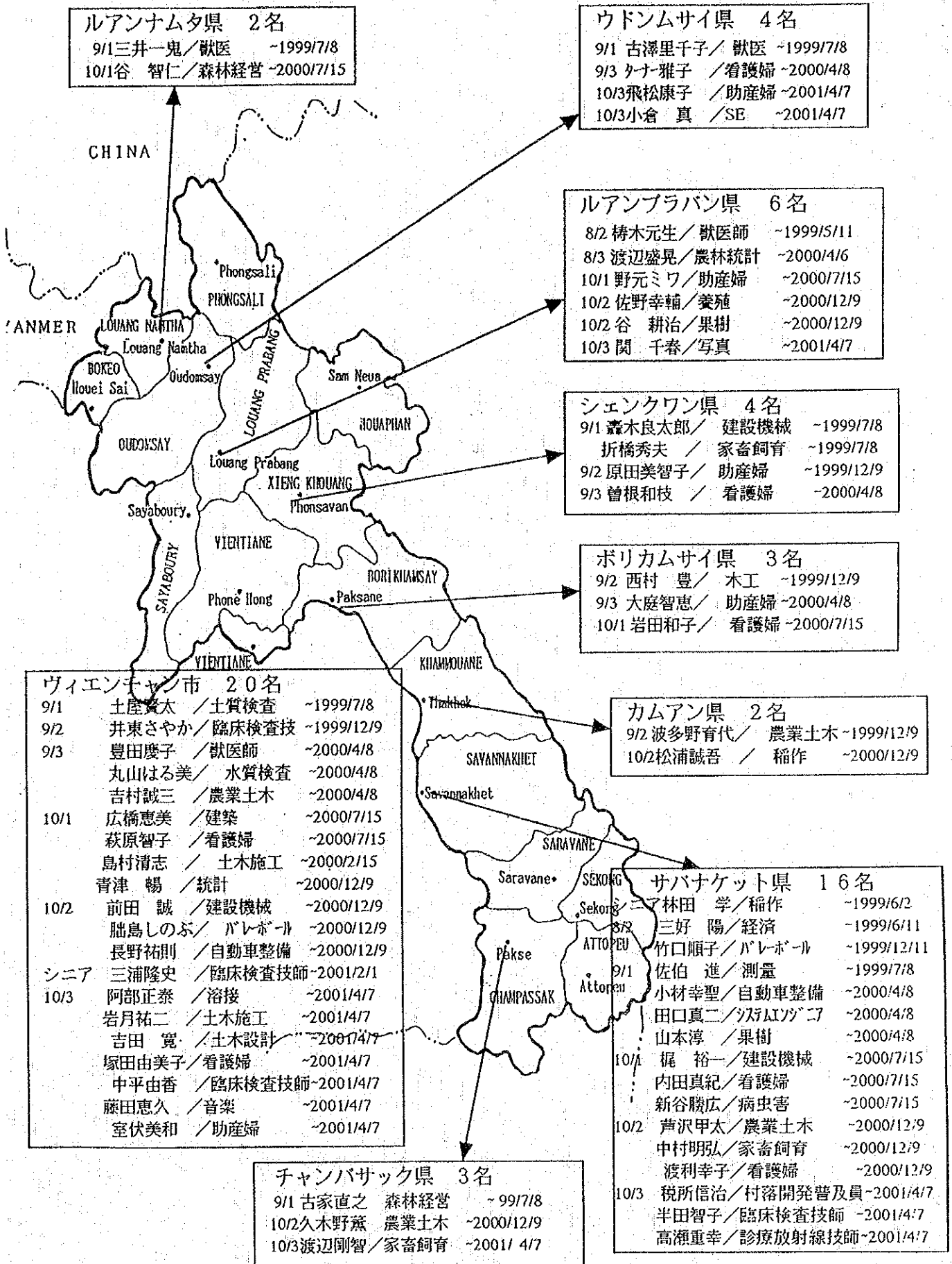
バス、サムロー（三輪車）、ハイヤーなどは一応ヴィエンチャンでは見つけることはできる。また外国人が自家用車を運転することも一般的なことであるが、道路標識、交通ルール等の整備は非常に遅れており車両増加（特に単車）に追い付けない。

### (4) 通信事情

ヴィエンチャン市内の省庁、オフィスでは電話及びFAXが急速に普及した、主要都市間及び国際通信に関してはダイヤル直通話が可能となるなどかなりの改善が見られる。

## 3. 問題点等懸案事項

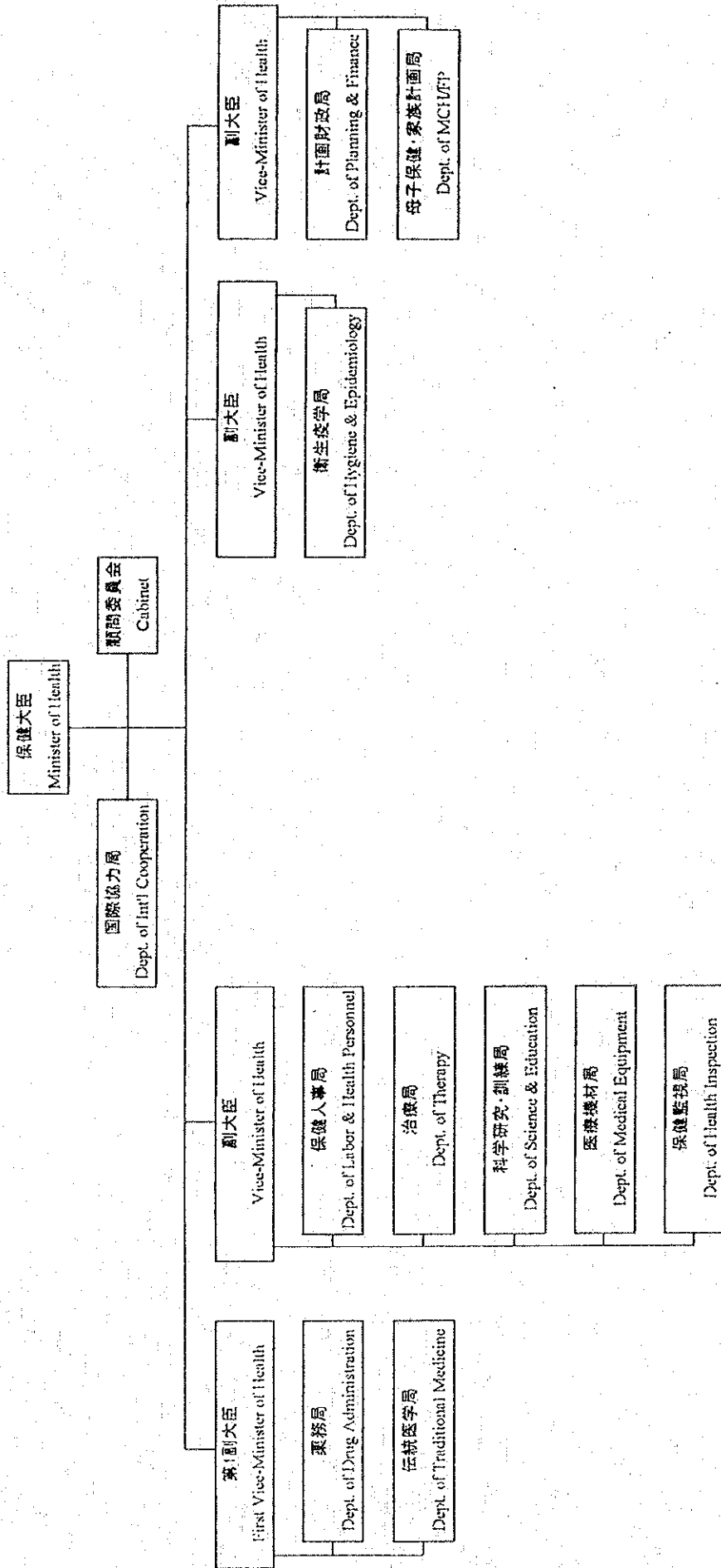
依然残っている社会主義的側面及び中堅事務官僚の不足により、いろいろな制度、手続きにおいて遅れが感じられる。外資の導入などもベトナム等に比べて遅れている面もあり、これからの課題となっている。また、国内での移動が道路事情等で困難であり、飛行機を使用する場合外国人用の値段が適用されるので高額となるほか、国内線の飛行機の安全性に問題があり、安全に使用できる機種に制限がある。





| 平成11年4月8日現在 ラオス協力隊員 |           |                  |       |     |         |  |
|---------------------|-----------|------------------|-------|-----|---------|--|
| 氏名                  | 職種        | 配属先              | 階次    | 出身地 | 任地      |  |
| 1 林田学               | 稲作        | サバナク農林局          | シニア   | 熊本  | サバナケット  |  |
| 2 三浦隆史              | 臨床検査技師    | 医療技術短大           | シニア   |     | ビエンティン  |  |
| 3 三好陽               | 経済        | サバナ手工業局          | 8年2次  | 埼玉  | サバナケット  |  |
| 4 竹口順子              | バレエ       | サバナクスポーツ局        | 8年2次  | 広島  | サバナケット  |  |
| 5 橋本元生              | 獣医師       | ルアンプラ農林局         | 8年2次  | 神奈川 | ルアンプラバン |  |
| 6 渡辺健児              | 農林統計      | ルアンプラ農林局         | 8年3次  | 北海道 | ルアンプラバン |  |
| 7 古澤聖子              | 獣医師       | ウドムサイ農林局         | 9年1次  | 北海道 | ウドムサイ   |  |
| 8 佐伯進               | 測量        | サバナ通信運輸郵便建設局     | 9年1次  | 山口  | サバナケット  |  |
| 9 折橋秀次              | 家畜飼育      | シェンク園芸農場         | 9年1次  | 富山  | シェンクワン  |  |
| 10 轟木良太郎            | 建設機械      | シェンク灌漑公社         | 9年1次  | 千葉  | シェンクワン  |  |
| 11 吉家直行             | 森林経営      | チャンバサ農林局         | 9年1次  | 広島  | チャンバサク  |  |
| 12 土屋賢大             | 土質検査      | 測量建設公社           | 9年1次  | 兵庫  | ピエンチャン  |  |
| 13 三井一虎             | 獣医師       | ルアンナムタ農林局        | 9年1次  | 東京  | ルアンナムタ  |  |
| 14 渡辺野野代            | 農薬土木      | カムアン農林局          | 9年2次  | 岡山  | カムアン    |  |
| 15 原田美智子            | 助産婦       | シェンクワン県保健局       | 9年2次  | 愛知  | シェンクワン  |  |
| 16 井東さやか            | 臨床検査技師    | 国立マホソット病院        | 9年2次  | 熊本  | ピエンチャン  |  |
| 17 西村豊              | 木工        | バクサンKM3高等学校      | 9年2次  | 大阪  | ボリカムサイ  |  |
| 18 小村幸聖             | 自動車整備     | サバナク技術短大         | 9年3次  | 熊本  | ザバナケット  |  |
| 19 田口真二             | システムエンジニア | サバナク技術短大         | 9年3次  | 岐阜  | ザバナケット  |  |
| 20 山本 淳             | 果樹        | サバナク農林局          | 9年3次  | 愛媛  | ザバナケット  |  |
| 21 吉行誠三             | 農薬土木      | ビエンティン特別市農林局     | 9年3次  | 福井  | ピエンチャン  |  |
| 22 大庭智恵             | 助産婦       | ホリカムサイ県立病院       | 9年3次  | 福岡  | ボリカムサイ  |  |
| 23 菅根和枝             | 看護婦       | シェンクワン県立病院       | 9年3次  | 北海道 | シェンクワン  |  |
| 24 中ノ野子             | 看護婦       | ホリカムサイ県立病院       | 9年3次  | 宮崎  | ウドムサイ   |  |
| 25 藤田慶子             | 獣医師       | 農林省獣医畜産局         | 9年3次  | 広島  | ピエンチャン  |  |
| 26 丸山はる美            | 水質検査      | ビエンティン特別市水道局     | 9年3次  | 長野  | ピエンチャン  |  |
| 27 島村清志             | 土木施工      | シェンク通信運輸郵便建設局    | 10年1次 | 長野  | シェンクワン  |  |
| 28 谷智仁              | 森林経営      | ルアンナムタ農林局        | 10年1次 | 岡山  | ルアンナムタ  |  |
| 29 梶裕一              | 建設機械      | サバナク灌漑公社         | 10年1次 | 神奈川 | サバナケット  |  |
| 30 広橋恵美             | 建築        | ラオス国立大工学建築学部     | 10年1次 | 奈良  | ピエンチャン  |  |
| 31 内田真紀             | 看護婦       | ザバナケット看護学校       | 10年1次 | 石川  | サバナケット  |  |
| 32 岩田和子             | 看護婦       | ボリカムサイ県立病院       | 10年1次 | 埼玉  | ボリカムサイ  |  |
| 33 萩原智子             | 看護婦       | マホソット病院          | 10年1次 | 静岡  | ピエンチャン  |  |
| 34 野元ミワ             | 助産婦       | ルアンバ県立病院         | 10年1次 | 鹿児島 | ルアンバパーン |  |
| 35 新谷勲広             | 病虫害       | ザバナケット農林局        | 10年1次 | 山梨  | サバナケット  |  |
| 36 青津博              | 統計        | シェンクワン県計画協力局     | 10年1次 | 新潟  | シェンクワン  |  |
| 37 芦沢甲太             | 農薬土木      | ザバナケット農林局        | 10年2次 | 埼玉  | ザバナケット  |  |
| 38 佐野幸輔             | 果樹        | ザバナケット農林局        | 10年2次 | 神奈川 | ザバナケット  |  |
| 39 谷 耕治             | 果樹        | ザバナケット農林局        | 10年2次 | 大阪  | ザバナケット  |  |
| 40 中村弘              | 家畜飼育      | ザバナケット農林局        | 10年2次 | 福岡  | ザバナケット  |  |
| 41 長野祐則             | 自動車整備     | バス公社             | 10年2次 | 愛知  | ビエンティン  |  |
| 42 前田誠              | 建設機械      | ビエンティン灌漑公社       | 10年2次 | 大阪  | ビエンティン  |  |
| 43 松浦誠吾             | 稲作        | カムアン農林局          | 10年2次 | 沖縄  | カムアン    |  |
| 44 久木野薫             | 農薬土木      | ザバナケット農林局        | 10年2次 | 宮城  | ザバナケット  |  |
| 45 阪島しのぶ            | バレエ       | 国家隊委員会           | 10年2次 | 神奈川 | ビエンティン  |  |
| 46 渡利幸子             | 看護婦       | ザバナケット県立病院       | 10年2次 | 広島  | ザバナケット  |  |
| 47 猪松麻子             | 助産婦       | ザバナケット県立母子保健センター | 10年3次 | 東京都 | ザバナケット  |  |
| 48 渡辺剛智             | 家畜飼育      | バクセ南部農林短期大学      | 10年3次 | 福島  | ザバナケット  |  |
| 49 祝所信治             | 村落開発      | ザバナケットKMG        | 10年3次 | 埼玉  | ザバナケット  |  |
| 50 阿部正榮             | 沼掘        | 労働社会福祉開発センター     | 10年3次 | 岩手  | ビエンティン  |  |
| 51 吉田寛              | 土木設計      | ラオス国立大学建築学部      | 10年3次 | 北海道 | ビエンティン  |  |
| 52 岩月祐二             | 土木施工      | ビ市管理局            | 10年3次 | 愛知  | ビエンティン  |  |
| 53 塚田由美子            | 看護婦       | ビ市マホソット都病院       | 10年3次 | 千葉  | ビエンティン  |  |
| 54 室伏美和             | 助産婦       | ビ市マホソット都病院       | 10年3次 | 神奈川 | ビエンティン  |  |
| 55 半田智子             | 臨床検査技師    | ザバナケット県立病院       | 10年3次 | 愛媛  | ザバナケット  |  |
| 56 中平由香             | 臨床検査技師    | 国立友好病院           | 10年3次 | 東京  | ビエンティン  |  |
| 57 高瀬重幸             | 診療放射線技師   | ザバナケット県立病院       | 10年3次 | 大分  | ザバナケット  |  |
| 58 小倉真              | SE        | ウドムサイ県庁          | 10年3次 | 千葉  | ザバナケット  |  |
| 59 関 千寿             | 写真        | ザバナケット国立博物館      | 10年3次 | 茨城  | ザバナケット  |  |
| 60 藤田忍久             | 音楽        | 教育芸術学校           | 10年3次 | 北海道 | ビエンティン  |  |
| SV (シニア海外ボランティア)    |           |                  |       |     |         |  |
| 61 青木嘉久             | 青少年活動     | 青年同盟 短期          | 11/1S | 北海道 | ビエンティン  |  |
| 62 猪尾幸一             | 無線通信      | 保健省、短期           | 11/1S | 熊本県 | ビエンティン  |  |
| 63 長谷部誠             | 日本語教師     | ラオス国立大学、短期       | 11/1S | 東京都 | ビエンティン  |  |
| 64 森川直美             | 農村開発      | 農林省              | 11/1S | 北海道 | ビエンティン  |  |
| 65 山下健一             | 業務調整      | JICA 事務所         | 11/1S | 北海道 | ビエンティン  |  |
| 66 前田初江             | 青少年活動     | 青年同盟             | 11/1S | 東京都 | ビエンティン  |  |
| 67 栗原真三             | 造園        | ビ市DCTPC          | 11/1S | 東京都 | ビエンティン  |  |
| 68 斎藤誠              | 井戸管理      | ビ市KMG            | 11/1S | 東京都 | ビエンティン  |  |

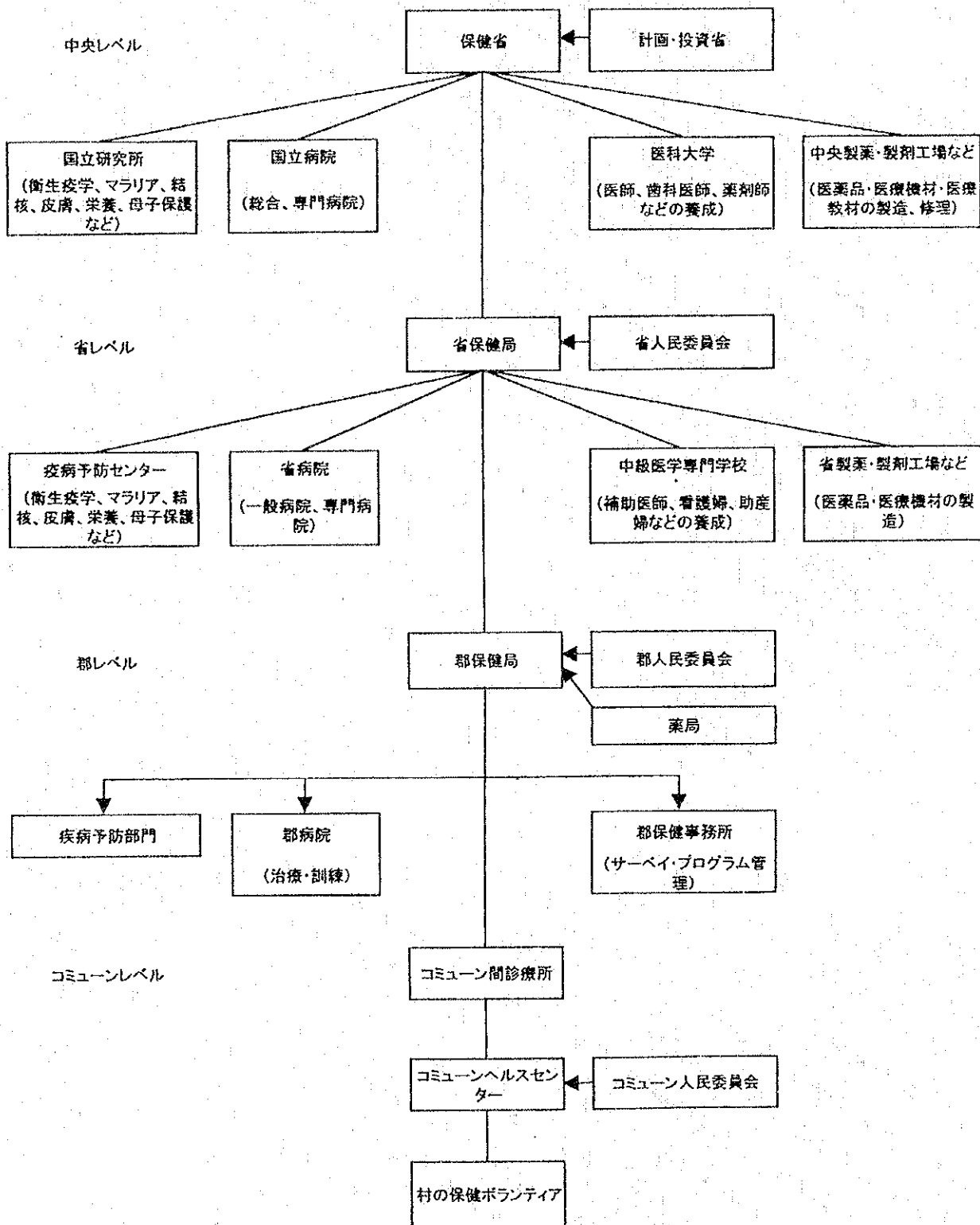
1. 保健省組織図  
(1996年9月現在)



出所：「国別医療協カファイル・データベース」1997 国際協力事業団  
(WIO提供資料より)

## 2. 保健行政のネットワーク

別添 4

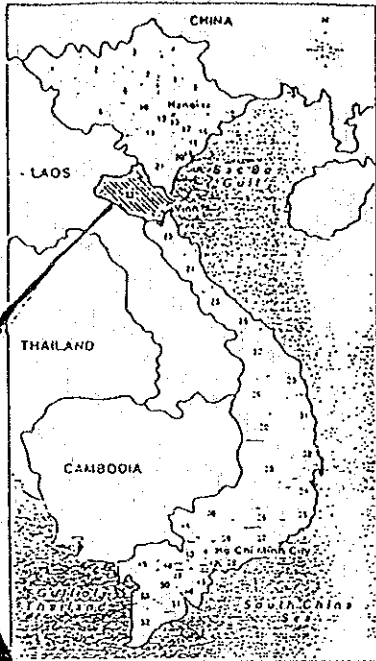


出所：「国別医療協力ファイル・ヴェトナム」1997 国際協力事業団  
 (A Situation Analysis of Children and Women 1994 UNICEF および Health Care Handbook 1995-96 R. Favereau & Associatesより)

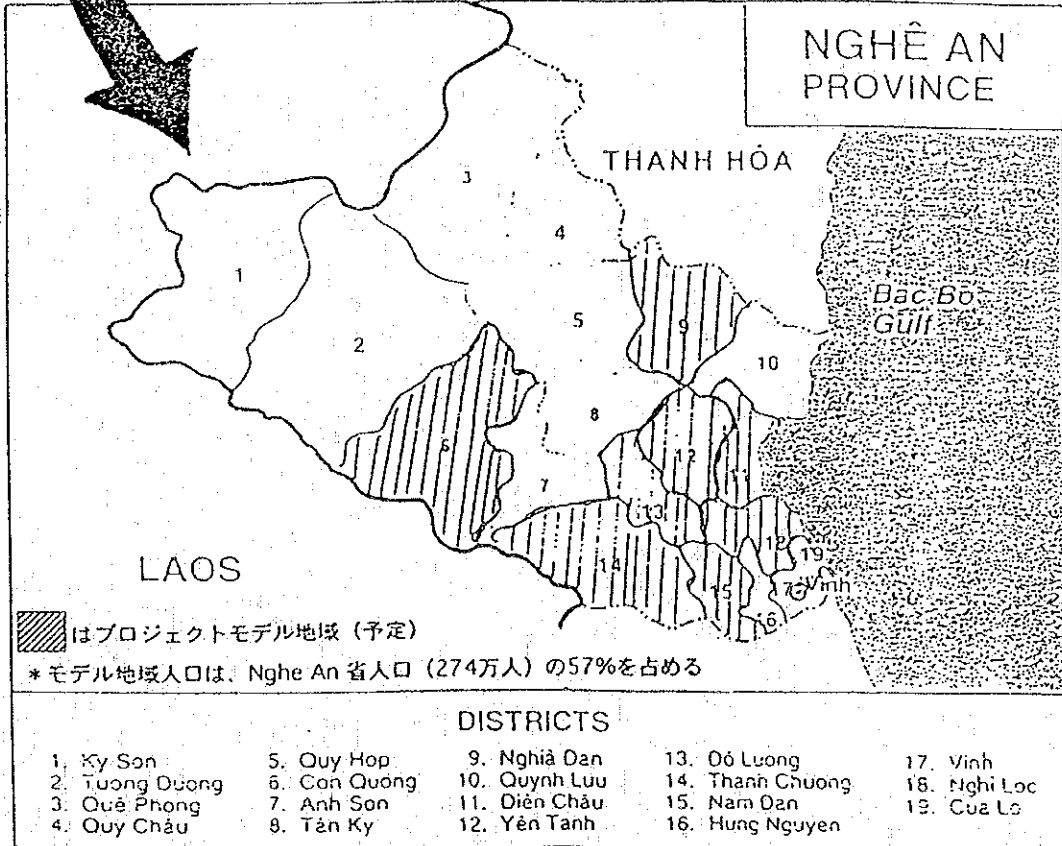
ヴェトナム社会主義共和国およびゲアン省地図

ゲアン省基礎データ

- 位置 : ハノイから約350km  
空路一約1時間(週3便)  
陸路一約8時間
- 面積 : 16,442km<sup>2</sup>(2/3が山岳部)  
国内第2位(岩手:15,275km<sup>2</sup>)
- 気象 : 年平均降雨量1,930mm  
最多3,000mm、最小1,000mm
- 人口 : 274万人  
国内第3位(広島:286万人)  
人口の92%が農村部に居住
- 郡数 : 19郡
- コミューン数 : 455コミューン(村)
- 年収/人 : 5.0ドル(全国平均170ドル)  
下から2番目の貧困省
- 世帯当たり  
可耕地面積 : 0.27ha(全国平均0.5ha)
- 主要農作物 : 米、さつまいも、とうもろこし  
落花生、胡椒
- 林業 : 松、ユーカリ
- その他 : ホーチミンの生誕地であり多くの  
閣僚を選出している

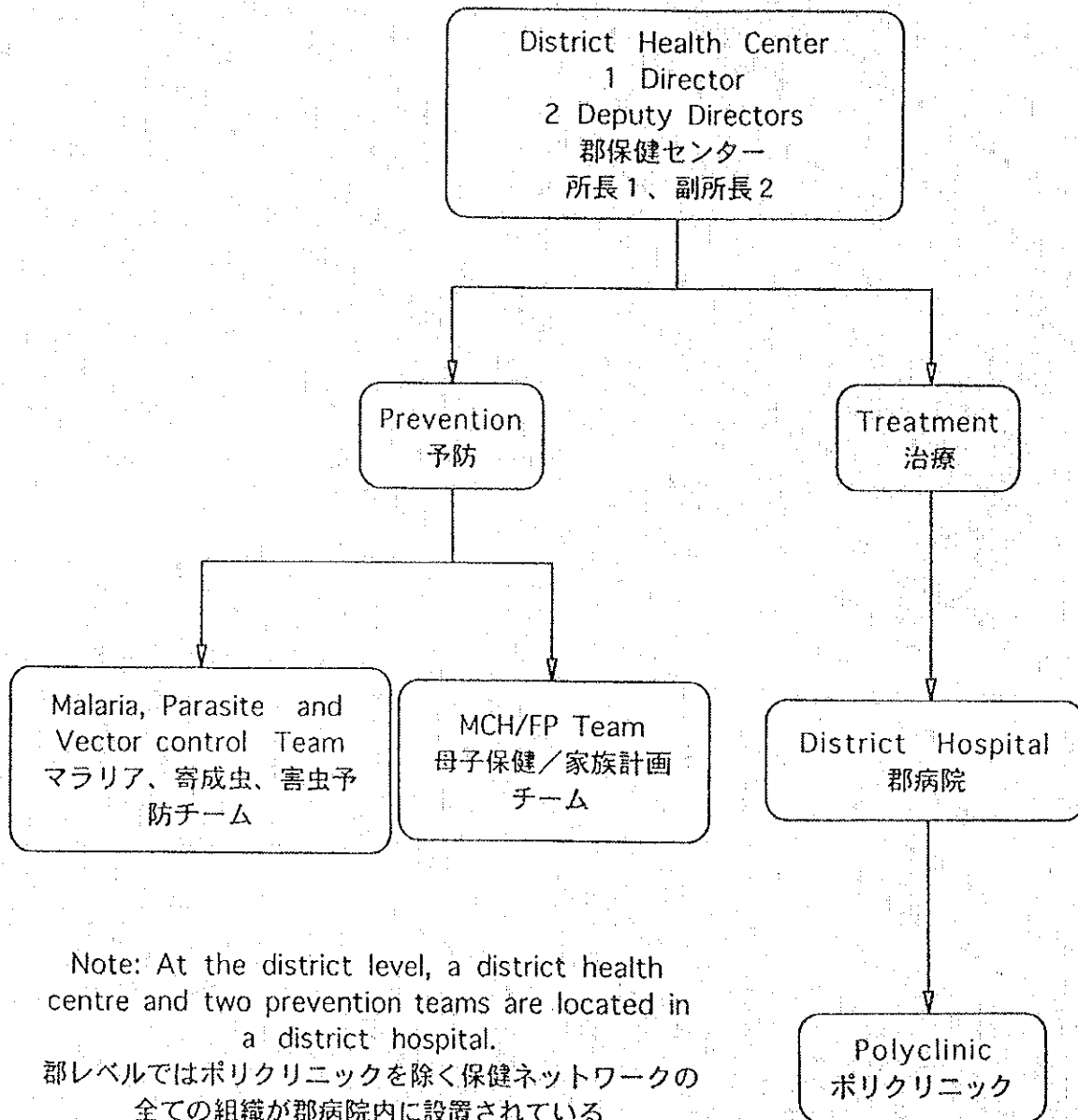


ヴェトナム : 33.1万平方km  
日本 : 37.7万平方km



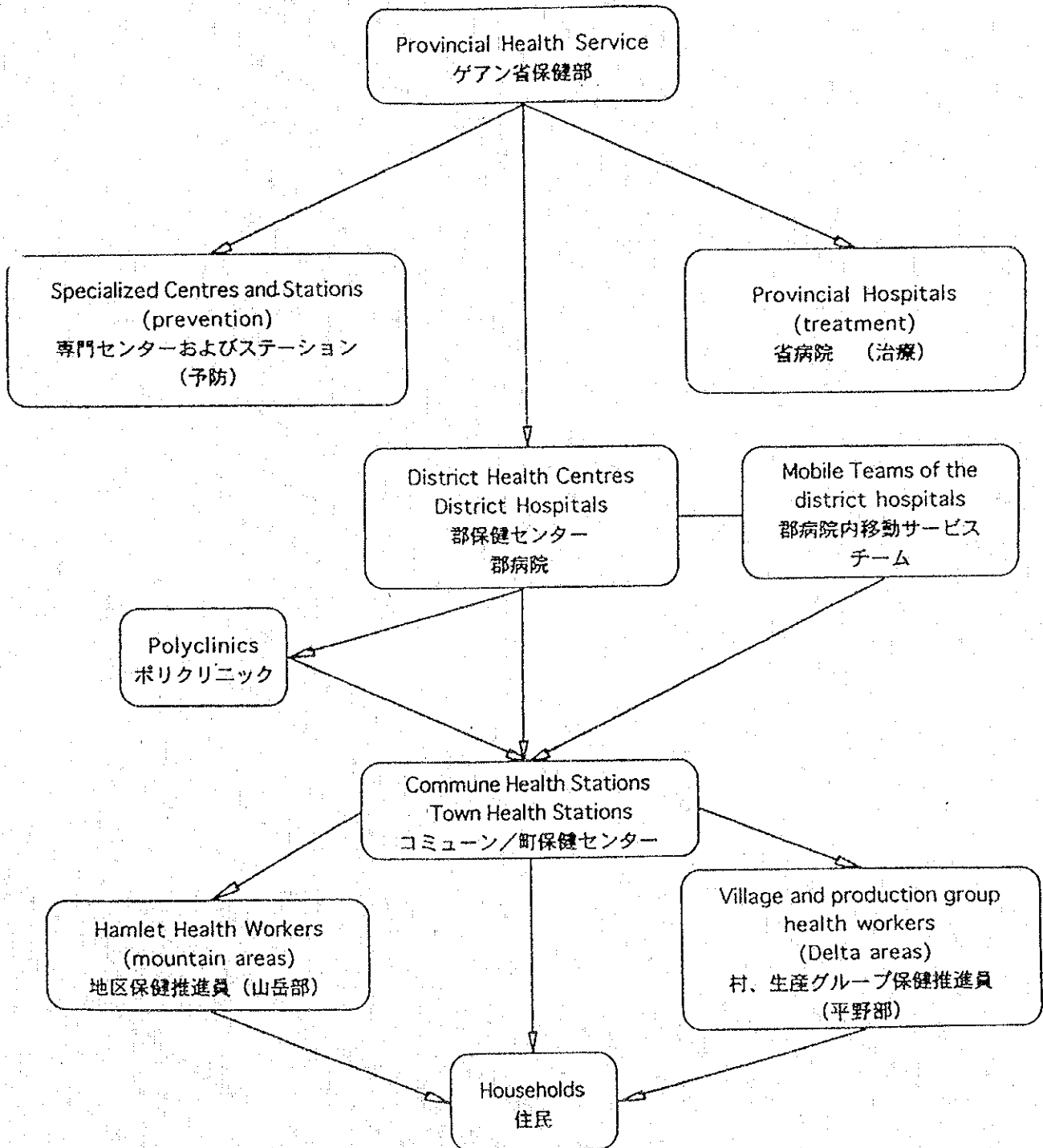
⑩ ゲアン省郡保健ネットワーク

Health Network at District Level  
郡保健ネットワーク



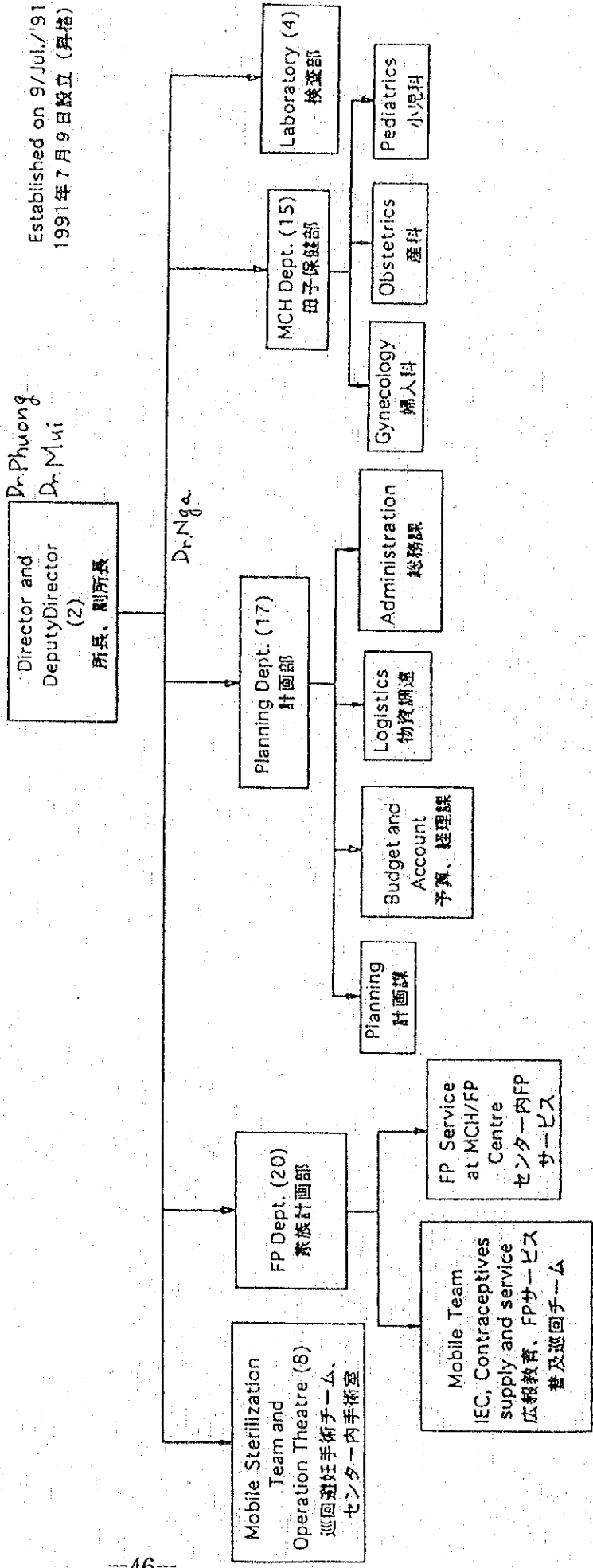
Note: At the district level, a district health centre and two prevention teams are located in a district hospital.  
郡レベルではポリクリニックを除く保健ネットワークの全ての組織が郡病院内に設置されている

Health Network of Nghe An Province  
 ゲアン省保健ネットワーク



as of April, 1997  
1997年4月現在

Organizational Structure of  
MCH/FP Centre Nghe An Province  
ゲアン省MCH/FPセンター組織図



## MCH/FP センターの活動と機能

MCH/FP センターの機能は大きくわけて下記の6点

- 1) 省全体の MCH/FP の管理
- 2) MCH/FP に関する機材の供給
- 3) 母性保健  
センターにおけるサービスのディストリクト、コミュニケーションレベルのスタッフの指導
- 4) 研修  
新しい人材養成—省の中級医療学校への講師の派遣と生徒の実習受け入れ  
再訓練—中級医師、助産婦等の再訓練をはじめ、産婦人科や小児科の医師  
に対する家族計画の技術、カウンセリング、IEC (広報教育) 等  
について再教育をする  
また、国家プログラム\*の管理についても教育をする
- 5) 研究、評価、モニタリング  
新しい避妊薬等の臨床実験や MCH/FP 活動に関するモニタリングや評価  
を行う
- 6) 国家プログラム、援助プログラムの実施

MCH/FP センターの詳細な規定については政府の命令により、現在保健省で検討中であり、ゲアン省のセンターの組織も今後中央の決定に従って、変更される可能性もある。

\*国家プログラムとは一定の目標値を定め、全国的に展開するもので、物資等の配給も含め、国の予算で実施するため、省の人民委員会の経費負担がないものをいう。

保健省における国家プログラムは下記の7つ

- 1) 母子保健/家族計画
- 2) マラリア予防
- 3) 予防接種 (EPI)
- 4) 結核予防
- 5) ヨード不足による甲状腺腫の予防
- 6) ライ病予防
- 7) 医療施設のないコミュニンの撲滅



人口・家族計画については保健省の他国家人口・家族計画委員会の国家プログラムがあり、このプログラムについては政府のプライオリティが高く、政府予算の投資も大きい。

人口・家族計画の国家プログラムは3つのプロジェクト（VDS01～3）に分割されている。

VDS01 はヴェトナム人口の管理部門の強化が目的で、実際には国、省、郡、コミュンレベルまでのスタッフの給料を支払う

VDS02 は家族計画サービスの実施を目的とし、避妊器具、薬品の購入と配布を行うもので、コンドームを除き、全てのものは省のMCH/FPセンターを通じて配布される

VDS03 は広報教育を目的とし、省レベルの人口・家族計画委員会が実施の中心になる

## MCH/FPセンターの予算

予算のソース：1997年を例としてとると下記の3種類の予算ソースがある。  
(JICAのプロジェクトを除く)

### 1. 人民委員会

#### 1-1) 人件費、管理費等の固定費的性格の予算(毎年支給)

MCH/FPセンターは予防医学系なので行政職に分類され、スタッフの頭割りで一律一人あたり年間7百万VND(US\$1=11,600VND, 97年4月現在)が支給される<sup>1)</sup>。(契約ベースの人件費は含めない)。97年は62人が正式に雇用されているスタッフ数なので7百万VND×62人=4.34億VND(US\$37,414)が割り当てられた。この予算のなかで人件費、センター運営管理費を捻出する。

#### 1-2) 人民委員会からの特別予算(特別措置)

特別に国家プログラムの補助が必要な場合や建設予算など一時的、短期的に手当される予算。人民委員会はMCH/FPセンターに対し、建設費を中心としてJICAのプロジェクト実施用に11億VNDをコミットしている。助産婦や準医師の研修室、日本人専門家用プロジェクトオフィスなどの建設費はここから出された。今後は、MCH/FPセンターに電圧安定器、検査室などを建設、購入する予定。97年は国家プログラムの補助として4.5億VND(US\$38,794)が支給される。

### 2. 保健省(MOH)

国家プログラムを実施するための予算(毎年支給、但し外国援助との調整によって総額は変化する)

MCH/FPセンターは省のリプロダクティブヘルス推進・向上の国家プログラム実施責任機関である。国家プログラムの定義はMCH/FPセンターの活動と機能の項で述べたが、ゲアン省のMCH/FPセンターは1997年予算でこのリプロダクティブヘルスプロジェクトを実施するため、MOHから

---

病院の場合はベッド数に応じて支給。97年は1ベッドあたりVND8mil.が支給される。この中から人件費、薬品、消耗品そして設備費を賄う。本来は2倍の16mil.が必要。差額は有料サービスによってすこしでも埋める努力をする。(有料サービスによって得た収入はPCに返却する必要はない。)

23.89 億 VND(US\$205,948)が割り当てられた。この予算の算出根拠は MOH が設定した数値目標を達成するため、各々の活動の目標値、つまり MCH/FP の年間サービス予定数 (MOH が設定した国家目標の項目毎 e.g. IUD 挿入、ピル、避妊手術等の FP サービスまた婦人病検診と治療といったサービス別の年間目標を設定する) に MOH の設定した単価基準 (薬品、技術、管理料等を含む) を掛け、それに必要な消耗品購入費を加えたものである。避妊器具・薬品は MOH から現物が支給される。

また、通常は上記の予算に加え、研修費と機材購入費が MOH から支給されるが、(93/94 年実績で 10 億 VND/年) 95 年に GTZ のプロジェクトが開始されて以来、「0」査定になり今年度は人民委員会に特別予算措置を依頼した。

### 3. 多国間、二国間援助機関

#### 3-1) GTZ/KFW

GTZ のプログラムのカウンターパートは人口・家族計画委員会 (NCPFP) であり、協力の内容も、人口と家族計画にしぼっており、母子保健の協力も行っていない。従って、MOH 系列の保健サービス機関及びスタッフに対する協力は一切実施していない。しかし、家族計画サービスは Condom を除いては、MOH のネットワークでのみサービスが可能のため GTZ のプロジェクト地区の一つである、ゲアン省の 7 郡 (内 2 郡は JICA のプロジェクト地区でもある) のすべてのコミューンと郡病院に対し、IUD 挿入キットを中心に医療器具などを KFW の予算で供与する。(GTZ のプロジェクトは 5 省 郡を対象にしている) その予算としてゲアン省の MCH/FP センターには 1997 年 1.93 億 ドン (US\$16,638) が割り当てられている。MCH/FP センターが 95 年に GTZ のプロジェクトが開始されて以来実際に援助を受けるのは今年が初めてとの報告であった。95/96 年は実質的に何の援助もなく、MOH からの予算だけが一方的に GTZ のプロジェクトがあるという理由のみでカットされてしまったと説明うけた。

### 4. 予算の調整

1997 年の MCH/FP センターの予算は以上の 3 種類である。この数字で見ると、センターの全予算の 79% は国家プログラムからの支出である。この数字一つをみても国家プログラムと JICA のリプロダクティブヘルスプロジェクトの調整が重要であることは明白である。また上記でも判る通り、MPI/MOH とも中央レベルにおいて援助の調整を実施していると言うが、その内容は現場サイドで聞く限りにおいては矛盾や調整不足が目立つ。

## 5. その他

5-1) 現在ヴェトナムのほとんどの保健サービスは有料である。料金は MOH 治療局の基準があり、その上限を超えることはできないが、人民委員会の承認を受けた場合はその限りではない。MCH/FP センターを含む医療施設ではサービスの提供によって得た収入は人民委員会に返却する必要はなく、医薬品、消耗品等の購入に充てて良い。実際には人民委員会の補助が必要経費の 50%程度にしかならず、自分たちでサービスの有料化をはかり、残りの必要経費を捻出しているのが現状のようである。

5-2) 現在 MOH の政策として援助で供与された薬品について有料で配布することを禁止している。確かに貧困に喘ぐ農民にとっては必要な措置ではあるが、将来コミュンレベルでサービスの有料化を推進しながら自立を目指すときにこの政策がその努力を阻む原因となる可能性も強い。この点については、MOH や他の援助機関とも充分情報交換をしてゆく必要がある。

## ヴェトナムの保健政策における Provincial MCH/FP センターの中・ 長期的位置付け

ヴェトナムにおいて保健省 (Ministry of Health- MOH) 内に MCH/FP 局が設置されたのは 1991 年であり、91 年以前は他の局の中に課として存在していた。MCH/FP 局の昇格に呼応するように 1991 年から 92 年にかけて全国一斉に省レベルで MCH/FP センターが設置された。これまでの MCH/FP センターは省令によって設置されていたが、97 年春に MOH によって作成された医療ネットワーク再編成案が政府に正式に承認、決定されると、MCH/FP センターの設置が国令になる。

MOH の医療ネットワーク再編成案概要は、「予防と治療のネットワークの整備」であり、MCH/FP センターと予防センターが正式に予防医療のネットワークの中に組み込まれる。この再編成案は早くて 97 年 5 月末に承認され、正式なものになる予定。また、MOH の MCH/FP 局と組織局は MCH/FP センターの細部にわたる規定をつくること命じられている。

1993 年 2 月 22 日発の保健省の第 220 の規定 (ヴェトナム語、UNICEF 翻訳英語添付) によって全国の MCH/FP センターが産前/産中/産後のケアできるようになり、正常なお産は MCH/FP センターで取り扱えるようになった。各サービス費用は MOH の治療局の規定に従う。しかし、人民委員会の許可があれば、サービス費用の変更は可能。(以上保健省 MCH/FP 局副局長 Dr. Loan の説明による。) しかし、予防医療のネットワークに組み込まれていることは、従来ベッドはもたない前提になっているため、お産のために多くのベッドをセンターのなかに増やすことは、限界がある。

また、ゲアン省の説明によれば、省レベルの保健部には MCH/FP を担当する行政部門はなく、MCH/FP センターが保健部から独立した機関として MCH/FP に関する行政指導も行っているとのことであった。つまり、MCH/FP センターは省保健部の MCH/FP の担当課が独立したような機能を持ち合わせていることになる。その一方でサービス、トレーニングそして調査も実施する。(省保健局及び、郡医療のネットワーク、などについては、添付組織図及びリストを参照)

List of Medical and Health Facilities of Nghe An Province  
 ゲアン省保健・医療施設一覧

Provincial Hospitals (treatment)

省病院 (治療)

| Type (種類)   | No. of beds | Staff |
|---|-------------|-------|
| Provincial Hospital 省総合病院                               | 500         | 670   |
| Children's Hospital (under 15-year-old)<br>小児病院 (15歳以下) | 150         | 200   |
| Hospital for Traditional Medicine<br>伝統医学病院             | 150         | 120   |
| TB Hospital 結核病院  | 150         | 160   |
| Neuro-Psychiatry Hospital 精神病院                          | 150         | 170   |
| Rehabilitation Hospital 機能回復病院                          | 100         | 70    |

Specialized Centres and Stations (prevention)

専門センター/ステーション (予防)

| Type (種類)  | Main Responsibilities (任務)   | staff |
|--|--|-------|
| Preventive Health Centre<br>(予防医学センター)                               | - Sanitation control (environment, food and labour)<br>環境、食品、労働衛生管理<br>- Control of communicable diseases<br>伝染病予防 | 45    |
| MCH/FP Centre  | - Promotion of MCH/FP<br>母子保健・家族計画の推進  | 65    |
| Malaria, Parasite and Vector Control Centre<br>マラリア、寄生虫、害虫<br>予防センター | - Control of Malaria, Parasite and Vector<br>マラリア、寄生虫、害虫予防   | 65    |
| Internal Secretion Station<br>内分泌ステーション                              | - Goitre prevention<br>ヨード不足による甲状腺腫の予防   | 24    |
| Ophthalmology Station<br>眼科ステーション                                    | - Vit. A supply, Trachoma prevention etc.<br>Vit.Aの補給、トラコーマ予防  | 24    |
| Dermatology Station<br>皮膚病ステーション                                     | - STD and Leprosy prevention<br>STD, らい病予防   | 24    |

ヴィエトナム国リプロダクティブヘルスプロジェクト  
(The Reproductive Health Project in Nghe An Province)

別添 6

1. R/D等署名日： 1997年4月5日
2. 協力期間： 1997年6月1日～2000年5月31日
3. プロジェクト名： ゲアン省
4. 相手国実施機関： ゲアン省(People's Committee of Nghe An Province)
5. 日本側協力機関： 家族計画国際協力財団 (JOICFP) 他
6. 要請背景：
 

ヴィエトナムは低所得国であるにもかかわらず、少ない予算で全国民をカバーする効率的な保健医療政策が行われてきたため、乳児死亡率は32.6(1995)、妊産婦死亡率は100前後と保健指標は開発途上国の中では中位に位置している。医療従事者数は周辺国より多いものの、ヴィエトナム戦争当時に行われた暫定的な人材育成であったことから、医療従事者は十分な訓練を受けていない状況にある。このため特に妊産婦のケアが不十分な状況にあり、公的医療施設においては周産期障害が第一の死亡原因となっている。また、妊産婦死亡率は1980年代から今日まで減少を見ていない。

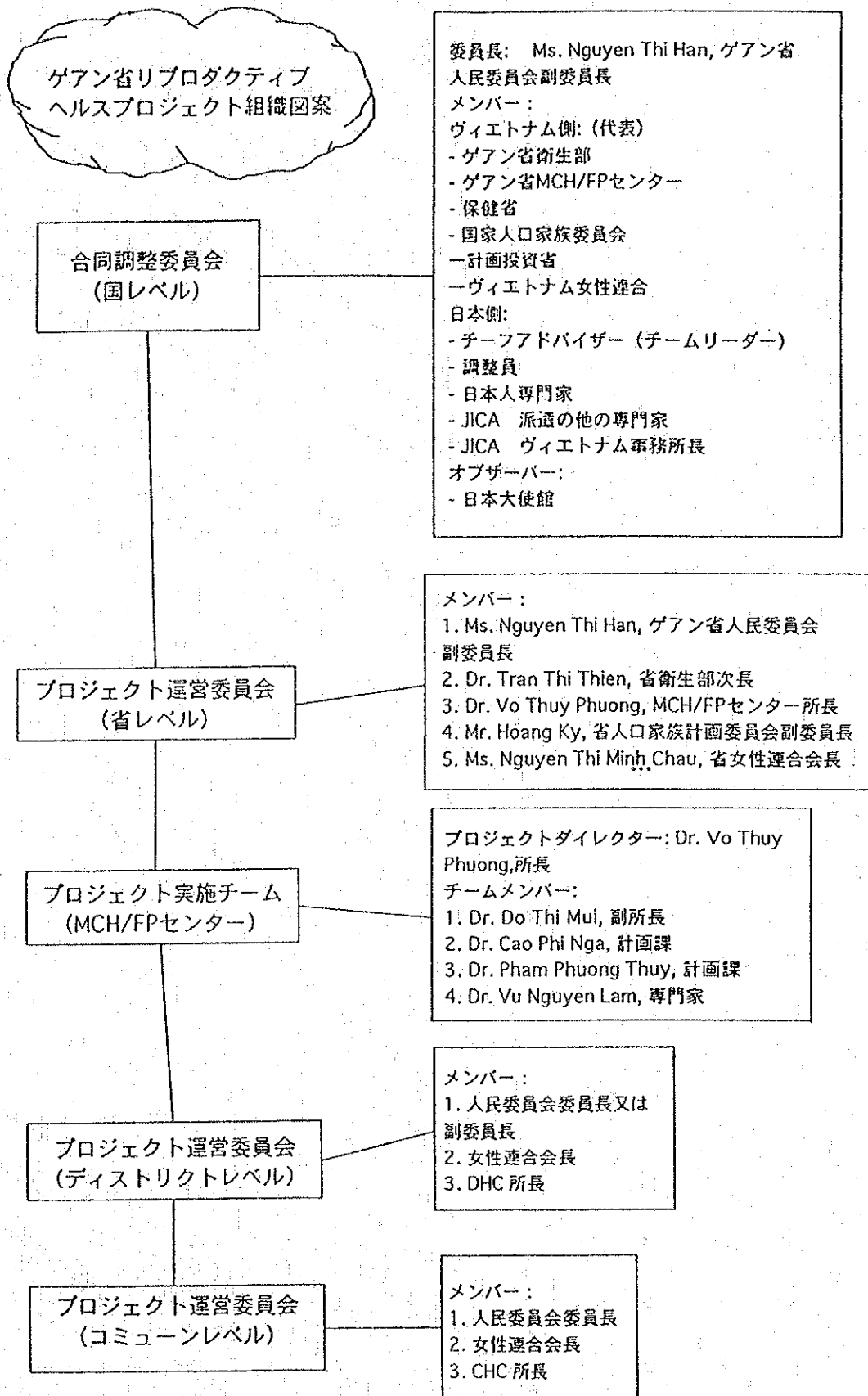
このような背景のもと、ヴィエトナム国の中でも特に貧困で、助産婦数が少ない北中部のゲアン省をモデル地域として妊産婦ケアに関わる保健行政の強化および村でのサービスの向上を図ることを目的とする内容のプロジェクト方式技術協力をわが国に対し要請してきた。
7. 目標と期待される成果：
  - (1) ゲアン省のプロジェクトモデル地域の女性のリプロダクティブヘルスの向上。
  - (2) 省全体のリプロダクティブヘルス促進機関として、ゲアン省母子保健/家族計画センターの機能が強化される。
  - (3) 村の保健所でのリプロダクティブヘルスサービス (清潔で安全な分娩を含む) の質が改善される。
  - (4) 住民に対し、リプロダクティブヘルスの情報と教育が提供される。
  - (5) 郡病院の母子保健移動チームの機能 (村の保健所のスタッフの再訓練のフォローアップ、監督、モニタリング) が強化される。
8. 協力活動内容：
  - (1) 村の保健所のスタッフを再訓練するための教官養成計画策定・実施
  - (2) 村の保健所のスタッフの再訓練の計画立案・教材作成・実施、村の保健所の分娩室等の改善及び十分な医薬品の供給
  - (3) 住民に対するIEC (情報教育) 教材の開発・製作・配布及び住民組織 (女性連合等) が行うIEC活動の訓練
  - (4) プロジェクトモデル地域内の郡病院の母子保健移動チームの活動計画策定・訓練
  - (5) 上記分野の協力実施に必要な機材の供与
9. 調査団等派遣： 1998年7月 運営指導調査
10. 日本側対応：
 

専門家派遣 (長期) 3名 (チームリーダー、助産婦、業務調整)  
(専期) 5～8名/年 (助産婦教育、保健行政管理、保健情報管理、保健サービス及び管理、産婦人科、IEC等)

研修員受入れ 3名/年 (保健行政管理、保健サービス及び管理、助産婦教育、リプロダクティブヘルス等)

機材供与 コミュニティ保健所及びMCH/FPセンター用医療機材、研修用機材、視聴覚機材、監視活動および巡回診療用車両
11. 他の経済・技術協力との関係：
  - (1) 草の根無償 (平成9年度申請予定) によるセメント等の資材供与による保健所の改修・機能強化を検討中。
  - (2) 人口特別機材 (平成10年度から4年間) による分娩台、基礎医薬品、避妊具、IECキット等の供与を検討中。
  - (3) ナムダン県農村総合開発調査 (平成8年度～平成9年度)
12. 他機関との関係： UNFPA連携 (人口特別機材供与)

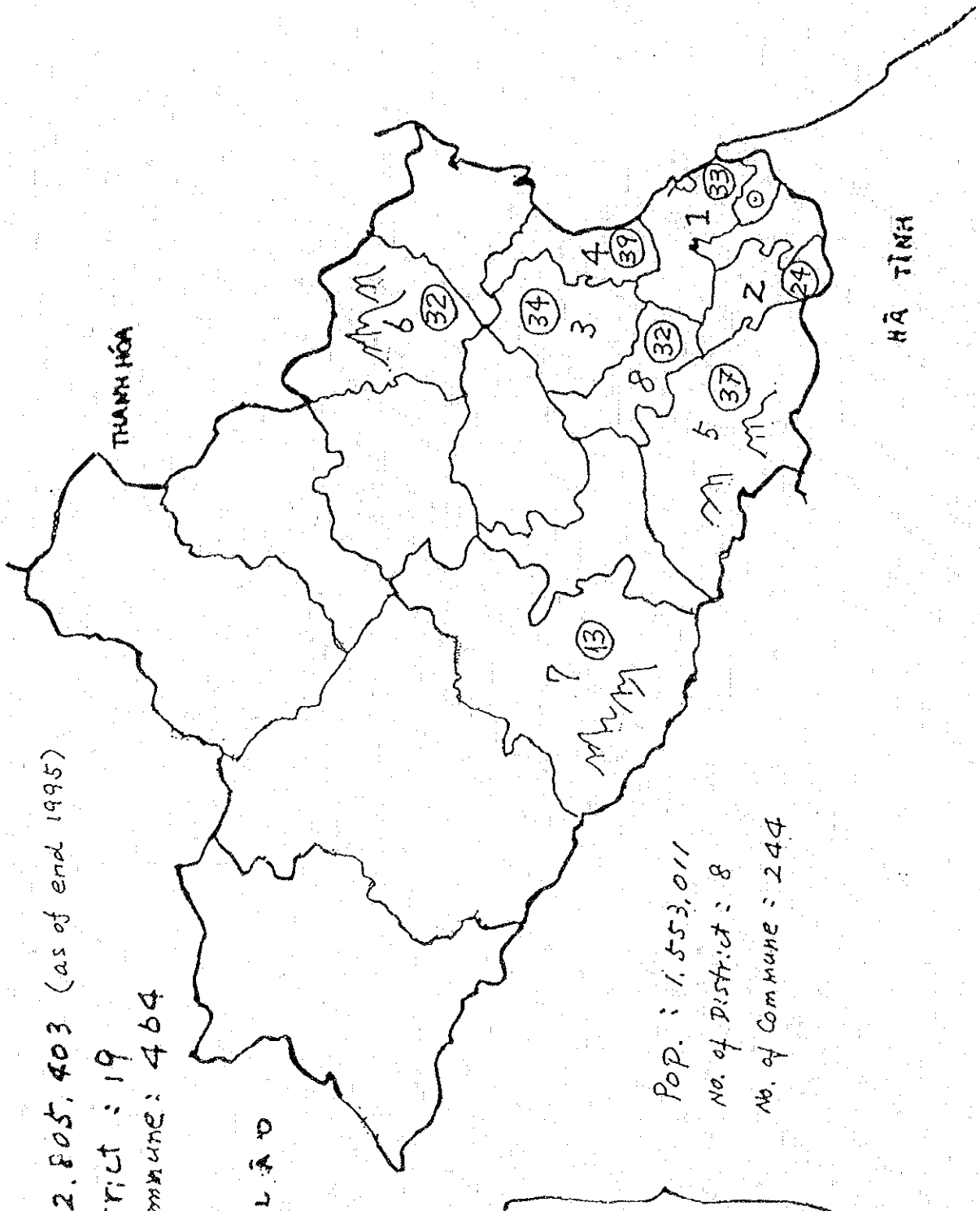
⑤ プロジェクト組織図 (案)





# NGHỆ AN

Pop.: 2,805,403 (as of end 1995)  
 No. District: 19  
 No. of Commune: 464



Pop.: 1,553,011  
 No. of District: 8  
 No. of Commune: 244

1. Nghi Lộc
2. Nam Đàn
3. Yên Thành
4. Diên Châu
5. Thanh Chương
6. Nghĩa Đàn
7. Con Cuông
8. Đô Lương

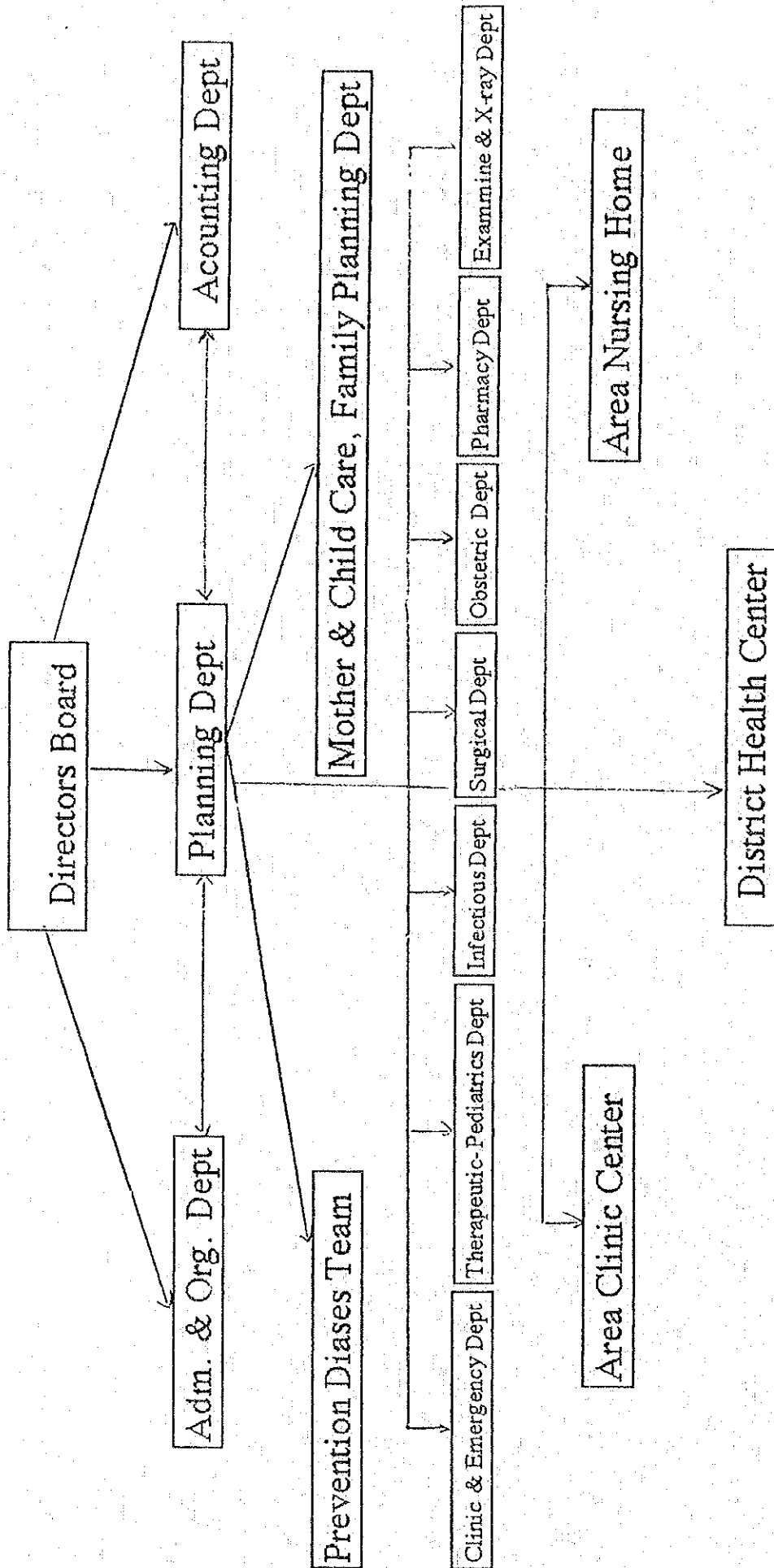
④ プロジェクト地区データ

プロジェクト地区データ

| District<br>(地区)        | Square  | Population | No. of male | No. of female | No. of women<br>between<br>15-49 | No. of<br>deliveries | No. of death | No. of TT2 | No. of prenatal<br>examination |
|-------------------------|---------|------------|-------------|---------------|----------------------------------|----------------------|--------------|------------|--------------------------------|
| 1. Dien Chau (4)        | 304.8   | 274,678    | 132,417     | 142,261       | 48,185                           | 8,308                | 1,242        | 3,075      | 10,032                         |
| 2. Nghi Loc (4)         | 399     | 204,306    | 99,395      | 104,911       | 27,871                           | 6,061                | 946          | 2,624      | 20,534                         |
| 3. Nam Dan (2)          | 295.2   | 157,899    | 75,797      | 82,102        | 26,795                           | 3,428                | 685          | 1,207      | 5,038                          |
| 4. Do Luong (8)         | 356.1   | 192,361    | 92,719      | 99,642        | 28,195                           | 4,637                | 883          | 2,500      | 3,112                          |
| 5. Yen Thanh (3)<br>(5) | 561     | 252,480    | 122,984     | 129,496       | 41,981                           | 7,737                | 1,169        | 3,500      | 16,838                         |
| 6. Thanh Chuong<br>(5)  | 1,166.4 | 235,114    | 113,795     | 121,319       | 36,117                           | 7,591                | 1,140        | 2,800      | 10,045                         |
| 7. Nghia Dan (6)        | 727.7   | 173,976    | 86,990      | 86,986        | 28,424                           | 5,348                | 803          | 1,325      | 3,692                          |
| 8. Con Cuong (7)        | 1,662.8 | 62,197     | 31,472      | 30,725        | 10,967                           | 2,088                | 311          | 1,550      | 709                            |
| Total                   | 5,473   | 1,563,011  | 755,569     | 797,442       | 248,535                          | 45,198               | 7,179        | 18,581     | 70,000                         |

Source: MCH/FP Center, Nghe An Province

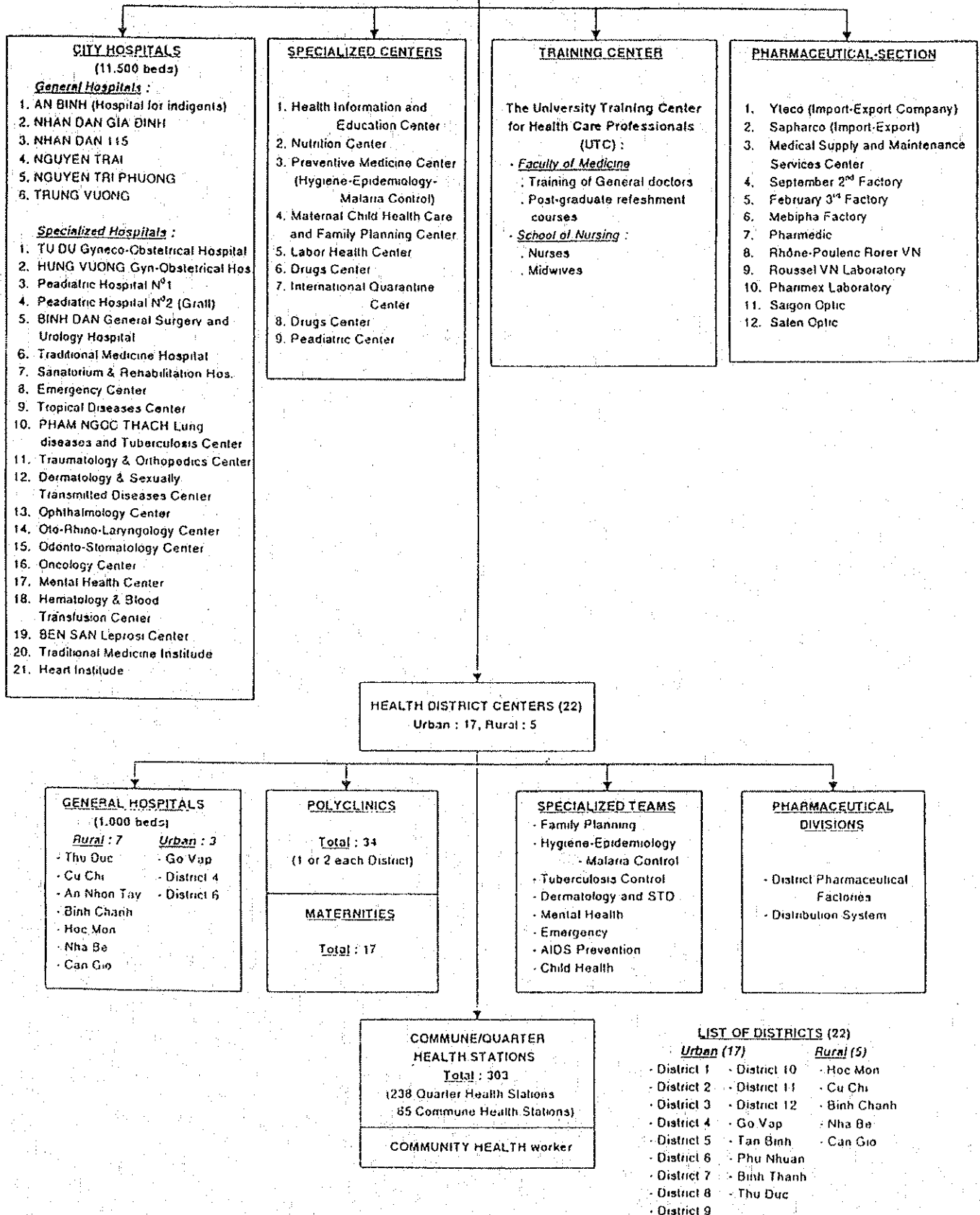
# Organization Chart of Hue City Health Care Center



- Planning Department
- Personnel Department
- Accountancy & Finance Department

## HEALTH SERVICE OF HOCHIMINH CITY

- Medical Professional Department
- Drug Administration Department
- Private Services Management Department
- Inspection



JICA

JICA  
LIBRARY